

最新ニュースをお届けします！



No.229

栗山公園オリジナルぬりえ♪

## 青空ぬりえ広場

栗山公園のストーリーが詰まった、オリジナルぬりえをご用意しました！！  
なかよし動物園のマスコットや栗山公園のキャラクター達が登場しています★  
好きな色を選んで、自分だけのぬりえを完成させてみて下さい！！  
完成したぬりえはおうちに飾って下さいネッ♪  
たくさんのご参加、お待ちしております！！

- 日時 8月1日(土)～8月31日(月)
- 料金 無料
- 受付 なかよし動物園
- 対象 来園者全員
- お好きなぬりえをお選び下さい。ペン・色えんぴつのご用意もあります。
- お子さまと一緒に大人の方も一緒にどうぞ。
- 時間 10：00～16：00 ※雨天中止

【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706 指定管理者 株式会社たかはしダリア

最新情報を  
簡単アクセス

公式HP



LINE



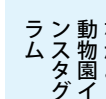
フェイスブック



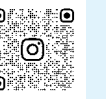
キャンプ受付



なかよし動物園Instagram



なかよし動物園Instagram



## No.49 噴水周りのポールのモニュメント

カルチャープラザの前の噴水をご存知でしょうか。この場所には、等間隔に半円を描くように全部で6本のポール（立柱）が並んでいます。柱の上には、金属の球や、直方体、円柱、円錐、それに蝶が羽を広げたようなメタリックな造形物も載っています。よく「観察」すると、蝶が、卵から蛹にかわり、羽化し羽ばたく、一連の生命の循環をシンプルに表現した作品のようでした。蝶は当然「オオムラサキ」のイメージのようです。



噴水周りにある「蝶」のモニュメント

以前に知人から、このオブジェの意味を聞かれたことがあります。施工先への照会や、関連の資料などを探したのですが、答えになるものは見つけられません。確かなのは、この年、今は国内では幻となった2千円札が発行された。栗山ではエコマネー「クリン」の流通試験が行われました。建物内のエントランスにある蝶のシャネルアや、近くにある銀色の百合の花のような作品「不可視コード」に蝶が群れる、この噴水周りには栗山の自然が「自然」に統一されています。



YouTubeで  
歴史コンテンツ  
公開中！



町史資料調査室  
☎ 76-7820

## 南空知消費生活相談室です！

相談室の専用電話ができました！

☎73-7516 ☎76-9550

### 今月のテーマ「公的機関を名乗る不審なメールにご注意！」

事例

今年に入ってから国税庁やそのほか公的機関を名乗り、支払いを要求するショートメッセージ(SMS)やメールが多数確認されています。これらは詐欺の可能性が高いので十分な注意が必要です。

こんな事例が増えています。

国税庁を名乗るメールが届き、「税金の未納分を24時間以内に支払わなければ資産を差し押さえる」と記載があった。支払う必要があると思い記載にあったURLを開き、住所、氏名、クレジット番号を入力してしまった。

POINT!

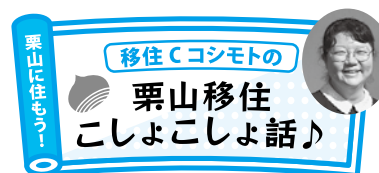
### トラブルにあわないために以下の点に注意してください。

- 国税庁や税務署では、納税者の同意がある場合を除き、SMSやメールで納付を求めることはしていません。このことを頭に入れておきましょう。
- 公的機関を名乗るSMSやメールが届いたら、URLを開かないこと。また、金銭の要求があった場合、詐欺を疑いましょう。
- 個人情報やクレジット番号は非常に重要な財産です。容易に入力することのないようにしましょう。

不安に思ったり、不審に感じた場合は、すぐに消費生活相談室に相談してください。  
困った、誰かに相談したい！そんな時はすぐ消費者ホットライン「188」へ

### 【相談日】

毎週 月～金曜日（祝日除く） 8：30～17：15（商工観光課内 ☎76-9550）  
※上記の曜日以外の相談は、消費者ホットライン「☎188（いやや）」へ



他自治体はもはや、ライバルではなく『仲間』です。

栗山町移住コーディネーター  
文：腰本 江里沙  
(通称：移住Cコシモト)

移住Cコシモトの  
Instagramは  
こちら



## 第14話「横のつながりがもたらす相乗効果」

道外での移住相談会に参加すると、どこのまちも人口減少に強い危機感を抱いていると感じます。コロナ禍以降、栗山町では他自治体と協力して移住イベントを開催することが多くなりました。『北海道移住のすゝめ』という道内約20自治体から成る横連携チームでは、オンライン移住セミナーのほか、東京や大阪での合同イベントを開催。また、今年度からは『ちかそら南空知』と称し、三笠市・長沼町との合同移住促進プロジェクトが始動しました。どちらも自分たちで企画から運営まで行うため、かなりの労力が必要ですが、一緒に仕事をするなかで他

のまちの情報を知ることができ、業務に関する知見が蓄えられ、日々刺激を受けています。相談会の際に、ほかのまちの移住担当者が「自分のまちには合わないけど、栗山ならいいかも」と、相談者に勧めてくれることがあります。逆もまたしかり。これは、移住担当者同士がお互いのまちを知ることでもたらされる効果と言えます。北海道移住を目指す人に向けて一緒に北海道での暮らしをPRするとともに、移住先候補として比較検討してもらう。そしてもちろん、各まちの個性を見せることは忘れない…移住促進の世界は奥が深いですね！